

## 市民交流都市の長崎県波佐見町に議員報酬の一部を寄附しました



大阪維新の会枚方市議会議員団では、今年8月の豪雨災害により大きな被害を受けた枚方市の市民交流都市である長崎県波佐見町に対して、支援金として議員報酬の一部を寄附しました。11月19日には「友好・交流都市物産展」のため枚方市を訪れていた同町の職員に、寄附金の目録をお渡しし、意見交換をしました。

波佐見町は、江戸時代にくらわんか船で、餅や汁物を提供する際に使用されていた「くらわんか茶碗」のルーツである波佐見焼の産地であり、枚方とは歴史的なつながりが深い町です。

8月の豪雨では、幸い被害者は出なかったものの、家屋の倒壊や土砂崩れによる農地の被害があり、現在判明している被害額は10億円を超えるとのことです。

災害復旧に当たる職員が不足しており、庁内で職員を融通しながら、何とか対策に当たっているとの課題もお聞きし、災害対応における広域連携のあり方についても、改めて考えさせられました。

一方で、波佐見町は、観光に力を入れており、人口1万4000人の町ですが、コロナ禍以前は、観光客が年間100万人を超えるほどの賑わいがあったとのことです。

棚田などの自然やブランド力のある波佐見焼などの陶器を観光資源として、体験型のツーリズムを公民連携により展開するなど、観光施策を積極的に推進しているとのことで、枚方市でも学ぶべき点が多くあり、有意義な意見交換となりました。

これを機会に、さらに枚方市と波佐見町との交流を深めていければと考えています。

これを機会に、さらに枚方市と波佐見町との交流を深めていければと考えています。

## 枚方市議会 11月緊急議会

## 市長・特別職・職員・議員の期末手当(ボーナス)の減額改定を可決

枚方市議会の11月緊急議会が、11月30日に開かれ、3件の専決事項の報告をはじめ、市長、特別職、職員及び議員の期末手当(ボーナス)を減額するための条例改正案について審議し、全議案可決しました。

今回の措置は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて業績が悪化した民間事業者の水準に合わせる

ため、国家公務員のボーナス支給率を0.15ヶ月分引き下げるよう求めた人事院勧告を基準として、枚方市でも同様の減額措置を行ったものです。

この条例改正により、枚方市では、12月に支給されるボーナスから、減額が行われます。ボーナスの引き下げは2年連続となります。

## かじや知宏 プロフィール

<経歴>昭和43年9月12日、枚方市に生まれる。阪保育所、殿山第二小学校、第三中学校、牧野高校、龍谷大学文学部社会科学科社会福祉学専攻を卒業。(株)報知新聞社での11年間の勤務を経て、かじや行政書士事務所開業。大阪府行政書士会綱紀委員、同企画広報部副部長、同枚方支部副支部長、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議理事、中司宏事務所政策スタッフ等を歴任。

<現在>枚方市議会議員(2期目、大阪維新の会枚方市議会議員団代表、総務常任委員会委員長、議会運営委員会委員等)、かじや行政書士事務所代表、日本維新の会大阪府枚方市支部政調会長等。<趣味>読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り、観劇。

政策や活動の詳細はウェブサイトやSNSをご覧ください



ウェブサイト



Facebook



Twitter



LINE公式アカウント

「友だち登録」お願いします



右のQRコードをスマートフォンやタブレット型端末のLINEアプリで読み取り「友だち追加」ボタンを押してください。

